(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4247384号
(P4247384)
(45)発行日　平成21年4月2日(2009.4.2)　(24)登録日　平成21年1月23日(2009.1.23)

(51)Int.Cl.　　F I
B60R 7/04 (2006.01)　　B60R 7/04 T
B60J 5/04 (2006.01)　　B60J 5/04 F

請求項の数 1　(全 8 頁)

(21)出願番号　特願2003-320068(P2003-320068)
(22)出願日　平成15年9月11日(2003.9.11)
(65)公開番号　特開2005-82137(P2005-82137A)
(43)公開日　平成17年3月31日(2005.3.31)
審査請求日　平成18年7月28日(2006.7.28)

(73)特許権者　000124454
河西工業株式会社
神奈川県高座郡寒川町宮山３３１６番地
(74)代理人　100083954
弁理士　青木　輝夫
(72)発明者　田中　康雄
神奈川県高座郡寒川町宮山３３１６番地
河西工業株式会社内

審査官　小関　峰夫

最終頁に続く

(54)【発明の名称】車両用ポケット構造

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
内装部品本体にその表裏両面を貫通するポケット開口を設け、該ポケット開口を覆うように前記内装部品本体の裏面側よりポケットカバーを添設設置して、車室側に開口する物品収納凹部を形成し、更に、該物品収納凹部に収容した物品の転落防止作用を行う帯状体を前記ポケット開口に橋渡すように設置して構成する車両用ポケット構造であって、前記ポケットカバーの裏面に、前記帯状体の端部側を前記ポケットカバーにおける前記内装部品本体への添設設置前に仮止めする仮止め係止部を設けたことを特徴とする車両用ポケット構造。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、車両の車室側を美装する、例えばドアトリム、リアサイドトリム或いはラゲージサイドトリム等の内装部品本体にその表裏両面を貫通するポケット開口を設け、ポケット開口を覆うように内装部品本体の裏面側よりポケットカバーを添設設置して車室側に開口する物品収納凹部を形成し、更に、物品収納凹部に収容した物品の転落防止作用を行う帯状体をポケット開口に橋渡すように設置して構成する車両用ポケット構造に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、この種の車両用ポケット構造としては、特許文献１に記載のものが知られている

。
【特許文献１】実開昭63－82650公報。
【０００３】
これによれば、車室内壁面（内装部品本体）に物品収納凹部を設け、物品収納凹部の対向側壁所定位置に孔を設けると共に、該孔近傍の車室内壁の裏面に夫々突起を設け、前記孔を、両端を前記突起に係止させこれら突起間に張設されて物品収納凹部内に収納される物品の転落を防止するゴムバンドの挿入孔と、物品収納凹部内に嵌装されるボックスの係止部材が係脱可能に係合する係合孔とを兼ねるように構成したものである。
【０００４】
そして、特許文献１に記載の車両用ポケット構造における物品収納凹部は、車室内壁面を凹設して形成するものであることから、ゴムバンドを装着するに際して、ゴムバンドは、その両端を車室内壁面に設けた突起に係止することによって、張設されている。
【０００５】
これに対して、例えば特許文献２に記載のようなポケット構造においては、図８乃至図１０に示すように、内装部品本体１にその表裏を貫通するポケット開口２を設け、ポケット開口２を覆うように内装部品本体１の裏面側より別体のポケットカバー３を添設設置して、車室側に開口する物品収納凹部４を構成する場合もある。
【特許文献２】特開平9-11814号公報（段落0012乃至0022、図1、図2）。
【０００６】
そして、ポケットカバー３は、その外周フランジ部３ｇにおける複数個の取付け孔３ｈに内装部品本体１の裏面に突設した取付けボス８を挿通させ、取付けボス８の突出側先端部を熱加締め等により加締めることによって、内装部品本体１の裏面側に添設設置されている。
【０００７】
このように構成する場合、物品収納凹部４に収容した物品が転落しないように帯状体５をポケット開口２を横断して橋渡すように装着するには、ポケットカバー３の互いに対向する側壁３ａ、３ｂのうち、一方の側壁３ａに挿通孔３ｃを設けて、帯状体５の一端側を、一方の側壁３ａの内側から外側に挿通させると共に、外周フランジ部３ｇから外方に張出し形成した張出し片部３ｄにポケットカバー３の底壁３ｅ側に突出する取付けボス３ｆを形成しておき、ポケットカバー３を内装部品本体１に添設設置する前に予め、取付けボス３ｆにビス等の締着具６を用いて、帯状体５の一端側を装着している。
【０００８】
そして、帯状体５の他端側は、ポケットカバー３を内装部品本体１側に添設設置する際に、ポケットカバー３の他方の側壁３ｂと内装部品本体１の裏面との間に挿通させた後、内装部品本体１の裏面に突設した係止突起７に引掛けた後、係止突起７の先端部を熱加締め等により加締めることにより装着している。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００９】
従って、図８乃至図１０に示すような車両用ポケット構造の場合、ポケットカバー３を内装部品本体１に取付ける前には、帯状体５の他端側は、フリー状態で単にぶら下がっていることになって、ポケットカバー３の搬送時に帯状体５の他端側が他のポケットカバー３等に絡みついたりして取り扱いし難く、また、ポケットカバー３を内装部品本体１に添設設置する際に、帯状体５の他端側をポケットカバー３の他方の側壁３ｂと内装部品本体１の裏面との間に位置させた状態を保持しながら、ポケットカバー３を取付けボス８を加締める等して内装部品本体１に添設設置し帯状体５の他端側を内装部品本体１に装着するか、ポケットカバー３の内装部品本体１への添設設置後、帯状体５の他端側をポケットカバー３と内装部品本体１との間から引き出して内装本体１に装着することになって、ポケットカバー３の取付け作業性を悪くしていた。
【００１０】

本発明は、かかる点に鑑み、内装部品本体に取付ける前のポケットカバーにフリー状態となっている帯状体をポケットカバーに仮止めできるように構成して、ポケットカバーにおける内装部品本体への取付け性を大幅に向上するように意図した車両用ポケット構造を提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】

【００１１】

上記目的を達成するために、本発明は、内装部品本体にその表裏両面を貫通するポケット開口を設け、ポケット開口を覆うように内装部品本体の裏面側よりポケットカバーを添設設置して、車室側に開口する物品収納凹部を形成し、更に、物品収納凹部に収容した物品の転落防止作用を行う帯状体をポケット開口に橋渡すように設置して構成する場合、ポケットカバーの裏面に、帯状体の端部側をポケットカバーにおける内装部品本体への添設設置前に仮止めする仮止め係止部を設けたことを特徴とするものである。

【発明の効果】

【００１２】

かかる構成において、本発明は、帯状体の端部側を、内装部品本体への添設設置前のポケットカバーの仮止め係止部に仮止めすることによって、保持することができ、ポケットカバーの内装部品本体への取付け作業性を大幅に向上させることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１３】

以下、図を用いて、本発明における実施の形態について説明する。

【００１４】

（実施の形態１）

図１は、本発明に係る実施の形態１を採用した内装部品であるドアトリムを描画した斜視図、図２は図１のポケットカバーのみを描画した拡大斜視図、図３は図１におけるポケット付近を描画した分解斜視図、図４はポケットカバーの添設設置前における図１のＡ－Ａ断面図、図５はポケットカバーをドアトリムに添設設置した状態を描画した図１のＡ－Ａ断面図である。

【００１５】

図において、内装部品本体であるドアトリム１１は、上部にドアロック操作ハンドル２１、略中央部にアームレスト部２２、下部にポケット部２０等を配置して構成している。

【００１６】

ポケット部２０は、ドアトリム本体１１にその表裏両面を貫通するポケット開口１２を設けると共に、ポケット開口１２を覆うようにドアトリム本体１１の裏面側よりポケットカバー１３を添設設置して、車室Ｓ側に開口する物品収納凹部１４を形成し、更に、物品収納凹部１４に収容した物品の転落防止作用を行う帯状体１５を、ポケット開口１２を横断して橋渡すように設置して構成している。

【００１７】

ポケットカバー１３は、その外周フランジ部１３ｇにおける複数個の取付け孔１３ｈにドアトリム本体１１の裏面に突設した取付けボス１８を挿通させ、取付けボス１８における取付け孔１３ｈからの突出側先端部を熱加締め等により加締めることによって、ドアトリム本体１１の裏面側に添設設置されている。

【００１８】

帯状体１５は、好ましくはゴムバンド等の弾性的に伸縮自在の材料から構成しており、一端側は、ポケットカバー１３の裏面の互いに対向する側壁１３ａ、１３ｂのうち、一方の側壁１３ａに設けた挿通孔１３ｃに、一方の側壁１３ａの内側から外側に向かって挿通しており、その後、外周フランジ１３ｇから外方に張出し形成された張出し片部１３ｄよりポケットカバー１３の底壁１３ｅ側に突出形成した取付けボス１３ｆにビス等の締着具１６を用いて、装着されている。

【００１９】

そして、帯状体１５の他端側は、ポケットカバー１３をドアトリム本体１１側に添設設

置する際に、ポケットカバー１３の他方の側壁１３ｂとドアトリム本体１１の裏面との間に挿通させた後、ドアトリム本体１１の裏面に突設した係止突起１７に引掛け、係止突起１７の先端部を熱加締め等により加締めることにより装着している。

【００２０】

従って、帯状体１５の両端部には、取付けボス１３ｆおよび係止突起１７にそれぞれ挿入するための取付け孔１５ａ、１５ｂが設けられている。

【００２１】

更に、ポケットカバー１３の一方の側壁１３ａに対向する他方の側壁１３ｂには、底部１３ｅに近い部位において、仮止め係止部１９が突設されている。

【００２２】

仮止め係止部１９は、一端側が取付けボス１３ｆに装着された帯状体１５の他端側の取付け孔１５ｂに挿入仮止め可能に構成している。

【００２３】

この結果、図２乃至図４に示すように、ポケットカバー１３がドアトリム本体１１への添設設置前の状態において、帯状体１５は、取付けボス１３ｆに装着されている一端側と共に他端側も仮止め係止部１９によってポケットカバー１３に固定していることになって、ポケットカバー１３をドアトリム本体１１に添設設置する際に、単にポケットカバー１３をドアトリム本体１１の裏面に添えることによって帯状体１５の他端側がポケットカバー１３とドアトリム本体１１の裏面との間を潜って引出されることになり、帯状体１５の他端側を保持することなく、取付けボス１８を取付け孔１３ｈに挿通し、加締め作業により取付けボス１８を加締めればよく、この際に、帯状体１５の他端側がぶらついて、ポケットカバー１３の取付け作業の邪魔をすることがない。

【００２４】

そして、ポケットカバー１３をドアトリム本体１１に添設設置した後に、帯状体１５の他端側を、仮止め係止部１９から取外して、取付け孔１５ｂを係止突起１７に係止すると共に締着具１６を用いて係止突起１７に装着することになる。

【００２５】

（実施の形態２）

次に、本発明に係る実施の形態２について、図６を用いて説明する。

【００２６】

図６はドアトリムに添設設置する前のポケットカバー単独の横断面図である。

【００２７】

図６によれば、実施の形態２におけるポケットカバー１３は、仮止め係止突起１９が他方の側壁１３ｂの他、一方の側壁１３ａ側にも形成して構成したものであり、この場合、図示しないが、帯状体１５はその両端共にドアトリム本体１１に装着されることになる。

【００２８】

この結果、帯状体１５の一端側は、他端側と共に、取付けボス１３ｆへの装着前に、取付け孔１５ａを仮止め係止突起１９に係合することによって、取付けボス１３ｆへの取付け前に簡単にぶらつかないように保持されることになって、ポケットカバー１３の取扱い性を向上させている。

【００２９】

なお、上記実施の形態において、帯状体１５は、全体をゴムバンド等の弾性的に伸縮自在の材料から構成したが、これに限定されるものでなく、図７に示すように、一端側をＰＰ樹脂等からなるベルト体１５ｃで形成し、他端側をゴム等の弾性的に伸縮自在の材料から構成したベルト体１５ｄで形成して、ベルト体１５ｃおよび１５ｂの端部同士を所定幅重合すると共に縫製することによって構成してもよい。

【産業上の利用可能性】

【００３０】

以上説明したように、本発明の車両用ポケット構造は、帯状体の端部側を内装部品本体への添設設置前のポケットカバーの仮止め係止部に仮止めすることによって、保持するこ

とができ、ポケットカバーの内装部品本体への取付け作業性を向上させることができることから、車両の車室側を美装する、例えばドアトリム、リアサイドトリム或いはラゲージサイドトリム等の内装部品本体にその表裏両面を貫通するポケット開口を設け、ポケット開口を覆うように内装部品本体の裏面側よりポケットカバーを添設設置して車室側に開口する物品収納凹部を形成し、更に、物品収納凹部に収容した物品の転落防止作用を行う帯状体をポケット開口に橋渡すように設置して構成する車両用ポケット構造等に好適である。

【図面の簡単な説明】

【００３１】

【図１】本発明に係る実施の形態１を採用した内装部品であるドアトリムを描画した斜視図である。

【図２】図１のポケットカバーのみを描画した拡大斜視図である。

【図３】図１におけるポケットカバー付近を描画した分解斜視図である。

【図４】ポケットカバーの添設設置する前における図１のＡ－Ａ断面図である。

【図５】ポケットカバーをドアトリムに添設設置した状態を描画した図１のＡ－Ａ断面図である。

【図６】本発明の実施の形態２を採用したドアトリムに添設設置前のポケットカバー単独の横断面図である。

【図７】帯状体の変形例の一部省略した平面図である。

【図８】従来におけるポケットカバーのみを描画した斜視図である。

【図９】同じく、ドアトリムのポケットカバー付近を描画した分解横断面図である。

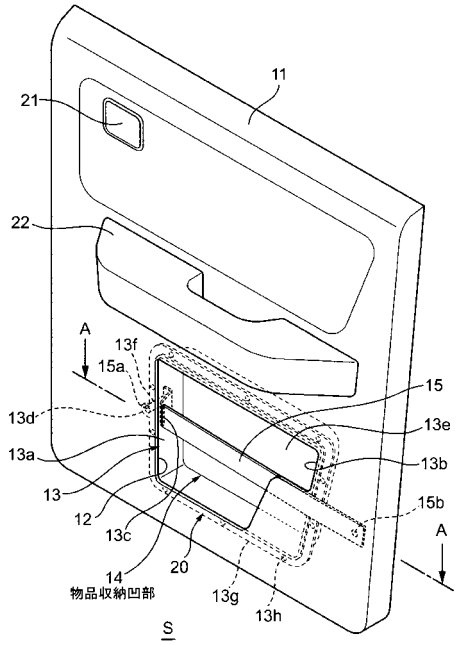
【図１０】同じく、ポケットカバーを添設設置したドアトリムの要部横断面図である。

【符号の説明】

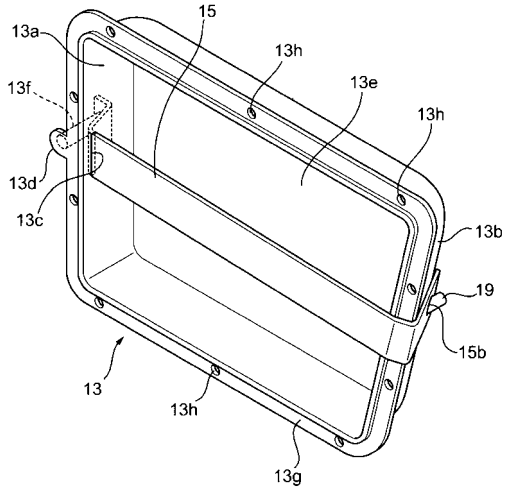
【００３２】

１１　ドアトリム本体(内装部品本体)
１２　ポケット開口
１３　ポケットカバー
１３ａ　一方の側壁（裏面）
１３ｂ　他方の側壁（裏面）
１４　物品収納凹部
１５　帯状体
１９　仮止め係止部
Ｓ　車室側

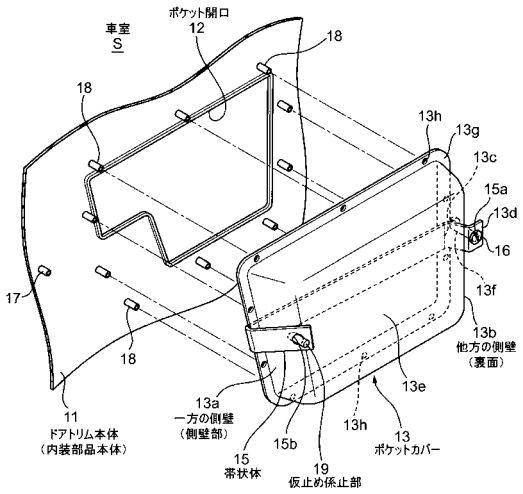
【図１】


11
21
22
A
13f
15a
15
13d
13e
13a
13b
13
12
15b
13c
A
14
20
13g
物品収納凹部
13h
S

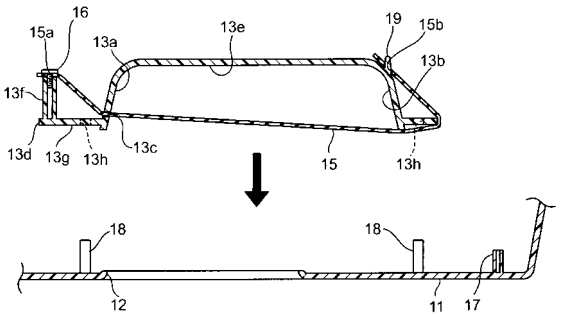
【図２】


15
13a
13h
13f
13e
13h
13d
13b
13c
19
15b
13
13h
13g

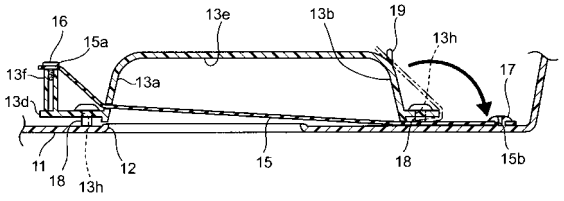
【図３】


車室
S
ポケット開口
12
18
18
13h
13g
13c
15a
13d
16
17
13f
18
13b
他方の側壁
（裏面）
13e
13a
一方の側壁
（側壁部）
13h
11
ドアトリム本体
（内装部品本体）
15
帯状体
15b
19
仮止め係止部
13
ポケットカバー

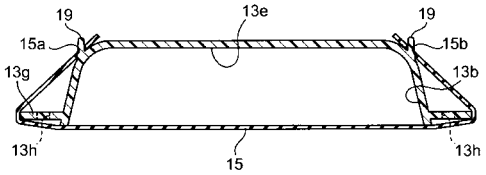
【図４】


16
15a
13a
13e
19
15b
13b
13f
13d
13g
13h
13c
15
13h
18
18
12
11
17

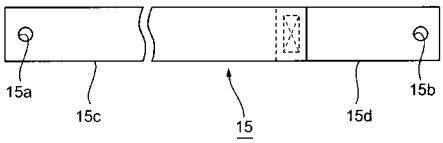
【図５】


16
13e
13b
19
15a
13h
13f
13a
17
13d
11
18
13h
12
15
18
15b

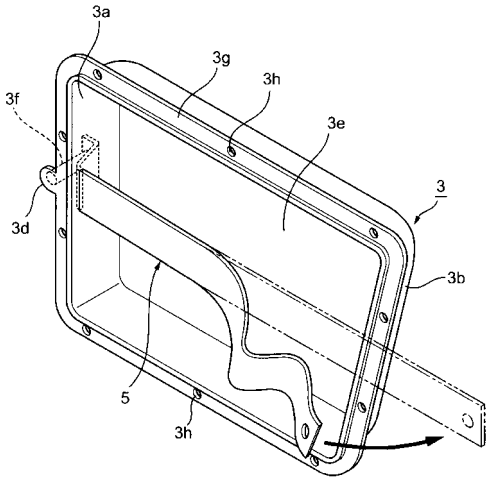
【図６】



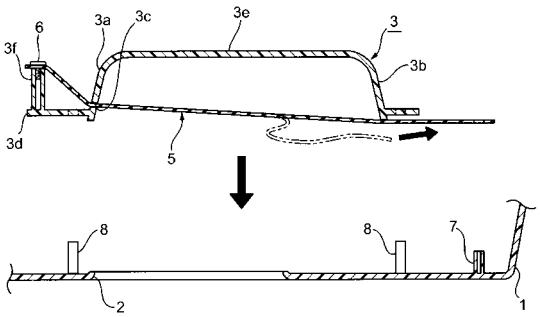
【図７】



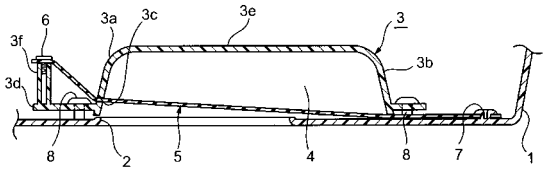
【図８】



【図９】



【図１０】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０８－０４０１４９（ＪＰ，Ａ）
特開平０９－０１１８１４（ＪＰ，Ａ）
特開２００２－１３７６８８（ＪＰ，Ａ）
特開２００２－３６２２３６（ＪＰ，Ａ）
実開昭６０－１０８５７３（ＪＰ，Ｕ）
実開昭６３－０８２６５０（ＪＰ，Ｕ）
実開昭６３－０８２６５１（ＪＰ，Ｕ）
実開平０１－１６８３４２（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｂ６０Ｒ　　７／０４
Ｂ６０Ｊ　　５／０４